

廃炉しかない浜岡原発

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2011年6月
No. 40

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL

090-9121-0602

先日、政府の要請により、運転中であつた中部電力浜岡原子力発電所の原子炉全てが運転停止（冷温状態）になりました。しかし、果たして運転停止しただけで、安全だといえるのでしょうか。

●福島第一原発の

停止していた原子炉は

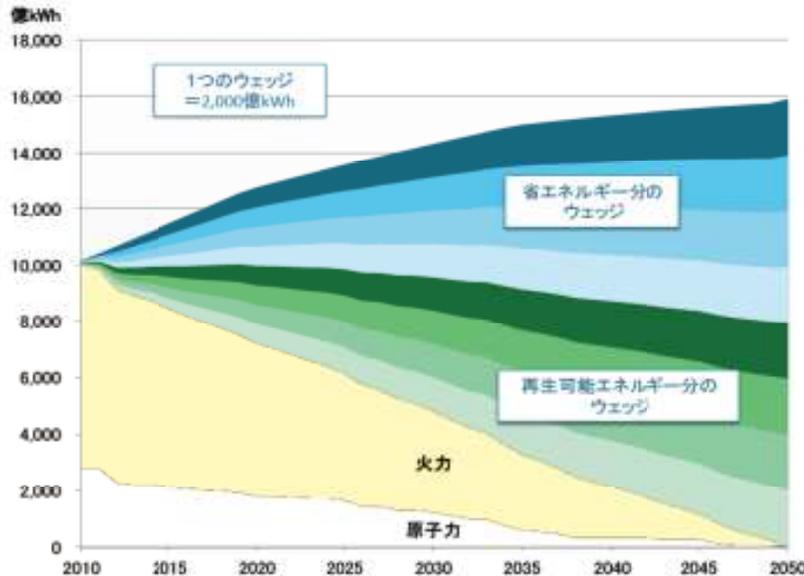
福島第一原子力発電所においては、1号機から3号機までの3機が運転中であり、4号機から6号機までは運転停止、定期検査中でした。今回、浜岡原子力発電所は、運転停止の状態ですが、福島原発で運転停止だった4号機が水素爆発を引き起こした事実を考えると、運転停止＝安全とはいえません。その上、浜岡原子力発電所は、東日本大震災と同等レベルの地震が起きると予想され、しかも震源域の真上に建っています。

●運転再開は危険

政府は、津波などの安全対策をやれば、運転再開を認める方針です。しかし浜岡原発は、津波だけでなく、直下型の地震そのものによつて、破壊される恐れがあります。浜岡原発の地盤が固い岩盤ではなく、軟弱な地盤であつたことが、すでに明らかになっています。

●浜岡原発は廃炉に

福島第一発電所の例からしても、予想される地震の被害からしても、浜岡原発



再生可能エネルギー100%へのシナリオ (出所) WWFジャパン作成

は、一時的な停止後の運転再開ではなく、永久停止で廃炉にすることが最適な対応策です。

●自然エネルギーで雇用確保
原発の廃炉と平行して、自然エネルギーへの転換が必要です。ドイツでは、再生エネルギーの利用の増加に伴い、再生可能エネルギーによる発電は新たな雇用を生み出しています。今日ドイツでは再生可能エネルギーによる発電に関連して、13万人の雇用が直接、あるいは間接的に発生しています。自然エネルギーに転換しても雇用は確保できることがドイツの例からわかります。(WWFジャパンのホームページより)